

Welcome to  
Nakanohigashi Junior High School



帰国生徒のみなさんへ

中野区立中野東中学校



# 中野東中学校での取り組み

本校は、第三中学校と第十中学校が統合し平成30年4月に開校しました。統合校の三中が昭和49年より帰国生徒受入校であった歴史から、新校の中野東中学校でも帰国生徒を受け入れております。そのため本校では、帰国生徒(両親どちらかが日本国籍で、中学校在籍時に海外から日本へ帰国した生徒のこと)が多く在籍しています。また、帰国生徒だけでなく、来日生徒(日本以外の国籍の生徒)も多く在籍しています。

本校では、日本の学校生活に早く親しめるように学区域の生徒と同じクラスの混入方式を受け入れを行っています。そのため、各学年に帰国生徒コーディネータの教員を配置し、適応の促進を図るための教育相談を随時実施しています。

## 日本語指導について 本校教員による日本語指導

帰国生徒の中には、日本での生活や、日本語のコミュニケーションに不安をもっている生徒も多くいると思います。そこで、中野東中では、本校教員が授業(英語など)から対象生徒を抜き出し、個別に日本語の指導を行っています。複数のテキストから、生徒一人一人の理解度にあつたものを選び、学習を進めています。また、漢字が苦手な生徒については状況に応じて、小学校の復習から始めたり、中野区国際交流協会(ANIC)へ通っている生徒は、そこで使っているテキストの復習を行ったりすることもあります。



Google Classroomにて情報を発信共有しています

## 教育体制

### EDUCATIONAL SYSTEM

#### 定期考査の対応

定期考査では、必要に応じてルビふり問題用紙を作成しています。また、個に応じて別室受験等の配慮も行っています。(都立高校の入試でも辞書の持ち込みや、ルビふり問題の対応を行えます。)

#### 授業での様子

各教科の授業は、日本語で行われます。問題文の意味等が分からないときは、iPadの翻訳機能を上手に使いながら授業を受けている生徒もいます。

#### ANICについて

中野区国際交流協会 Association for Nakano International Communications、通称ANIC(アニック)は、さまざまな国の人々が共存できる地域社会をめざし、中野のまちで市民レベルの国際交流をすすめています。

毎週水曜日と金曜日の午前中に、なかのZERO西館で日本語指導を受け、給食の時間に東中へ戻ってきます。少人数のグループに分かれて、「話す」「聞く」「読む」「書く」について学習しています。



#### 中野区による日本語適応事業

日本語指導が必要な生徒に対して、指導員を学校へ派遣し、日本語指導が行われます。生徒1人につき80時間を限度として派遣され、東中では週に1~2回、各1~2時間程度のペースで指導を受けている生徒がいます。

# 学校生活 SCHOOL LIFE

## 在校生徒と帰国生徒の関わり

### 在校生徒の声

- ◇いろいろな国の文化などを話してくれるので知識が増えました。
- ◇様々な人がいることで個々の違いを認め合うことができると思います。
- ◇お互い分からないことがあったら、教え合い支え合うことができます。
- ◇英語の授業で習っている内容を、実際の英会話の中でどのように使っているか聞く事ができて勉強になっています。
- ◇英語の授業のレベルが高くなり、ペアで練習するときなど、正しい発音を聞くことが出来て勉強になります。

### 帰国生徒の声

- ◇帰国生徒が多いので安心感があります。
- ◇帰国生徒が多く、帰国生徒特有の感覚を分かち合えます。
- ◇特に困っていることは無く、学校生活が楽しいです。



## 国際交流教室について

帰国生徒を対象に、ALT(外国人講師)と共に英語を使って、様々な経験について語り合う交流教室を実施しています。放課後の時間を利用して、年間で10回程度行っています。海外で培った語学力や国際感覚を保持する場にもなっています。



## 進路 CAREER SUPPORT

帰国生の受験日程は一般の生徒よりもかなり早い時期からスタートします。7月の三者面談では受験校を絞っておき、HPや夏季休業中に行われる学校説明会に参加し、受験要項を把握する必要があります。9月に入ると家庭と担任との連携を深め、別途面談を実施しながら受験校を決定していきます。



本校では、3月の帰国生徒保護者会において、本校在籍保護者様同士の「横のつながり」と、卒業生の保護者様との「縦のつながり」をつくることによって、受験期の不安解消やスケジュール対策などの共有を図っています。

帰国生徒の受験枠だけにとらわれず、自己実現のための進路選択が行われています。

## 部活動 CLUB ACTIVITIES

中野東中学校には運動部と文化部、あわせて14の部活動があり、それぞれが活発に活動しています。帰国生もどの部活動にも入ることができます。その中でも、英語部は多くの帰国生が在籍し、活躍しています。

### 英語部の活動内容

英語でのトークや英語のゲームを作って遊んだり、動画やスピーチやプレゼンテーションの作成をしたりして、校内の文化発表会や中野区連合文化発表会で発表をしています。

また、顧問の先生の許可があれば、英語部と他の部活動の兼部も認めています。



### 英語部での帰国生徒の様子

帰国生徒同士だからこそ共有し合える気持ちがあります。

男女仲良く、学年関係なくフレンドリーな部員たちです。何事にもポジティブな気持ちで楽しく取り組んでいます。





## 帰国生徒の主な受験先一覧（帰国生徒対象入試のある学校）

### <都立高校>

★国際高等学校 ★日野台高等学校 竹早高等学校 三田高等学校

### <私立高校>

★国際基督教大学高等学校（ICU） ★目白研心高等学校 明星学園高等学校 ★青山学院高等部

★関東国際高等学校 ★武蔵野大学附属千代田高等学院 ★富士見丘中学高等学校

文化学園大学杉並中学高等学校 ★宝仙学園中学高等学校 三田国際学園高等学校

桐朋女子中学高等学校 日本大学櫻丘高等学校 中央大学杉並高等学校 佼成学園女子高等学校

★は中野東中学校の卒業生が過去に実際に受験した学校です。

帰国生徒対象入試を実施している学校は他にもあります。また、受験資格は学校ごとに異なりますので、各学校のホームページで確認してください。

## Q & A 保護者の方からよく聞かれる質問

### Q. 何人くらいの帰国生がいますか？日本語指導を受けている生徒は何人くらいいますか？

A. 中学に入ってから帰国してきた生徒は各学年10人程度います。また、東中の日本語指導を受けている生徒は全体で20人ほど、ANICに通っている生徒は10人ほどいます。

### Q. 海外で準備しておいた方がいいものはありますか？

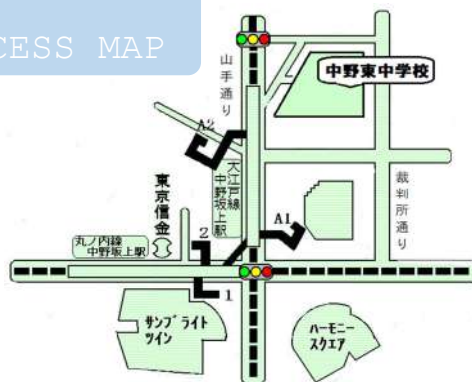
A. 現地校の場合は、成績証明書を準備してください。受験の時に必要になる場合があります。また、通っていた学校とメール等でやりとりができる状態にしておくとう便利です。

### Q. 教科書の準備はどうすればいいですか？

A. 日本人学校や海外子女教育財団等から教科書の給付を受けている場合は、東中でも同じ教科書を使う場合がありますので、捨てないようにしてください。東中と違う教科書の場合は、新しく給付します。現地校で支給された教科書を本校で使うことはありません。



### ACCESS MAP



東京メトロ丸ノ内線 中野坂上駅 AI 出口より徒歩5分



## 中野区立中野東中学校

〒164-0011 東京都中野区中央1-41-4

TEL 03-3362-5236 FAX 03-3362-5237

<http://nk-nakanohigashi-j.la.coocan.jp/index.html>

ご質問等がある場合には、副校長までご連絡ください。



本校 HP